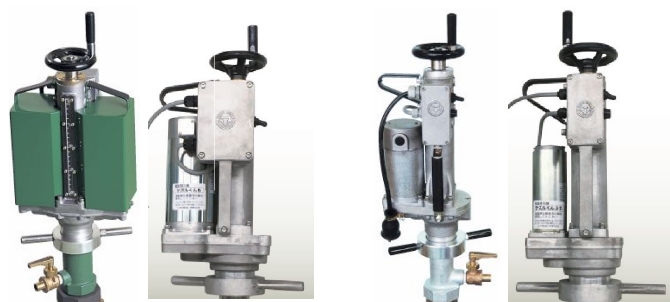


サドル付分水栓 電動穿孔機 施工手順書

本書はサドル付分水栓を取付け、電動穿孔機ケズルくん 200・Ⅱ・Jr・JrⅡを使用し穿孔するための手順書です。施工する前に必ずお読みになり、内容をよく理解した上で作業を行って頂くようお願い申し上げます。

電動穿孔機ケズルくん



200

Ⅱ

Jr

JrⅡ

止水機構適応呼び径
20～50

止水機構適応呼び径
20～25 (30)

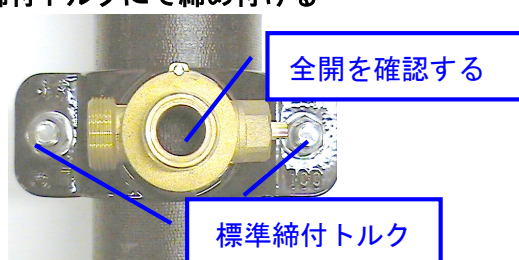
() 呼び径の穿孔は可能ですが、錐等付属品はオプションとなります。

・配水管の種類・分岐口径に適合した電動穿孔機専用のキリが必要です。

配水管の種類	キリの呼び径		キリの形状
ダクタイル鋳鉄管 (粉体・モルタル)	20		ドリル タイプ
	25		
	30	塩ビ 兼用	ホルソー タイプ
	40		
	50		
硬質塩化ビニル管	20		ホルソー タイプ
	25		

* 鋳鉄管用のキリは粉体・モルタル管共に同一形状ですが、モルタル管を穿孔するとエポキシ樹脂の切削性に不具合を生じるので**粉体管とモルタル管を区別**してご使用下さい。

1. 標準締付トルクにて締め付ける



・スパナ、トルクレンチ等を用いて**片締めにならないように均等に**標準締付トルクまで締め付ける。

サドル付分水栓ボルトナット標準締付トルク (N・m)

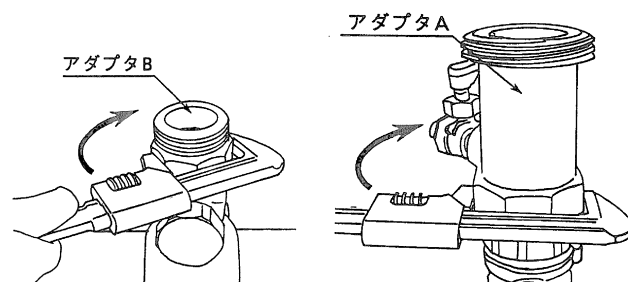
配水管の種類	ボルトの呼び	
	M16	M20
DIP (ダクトイル鋳鉄管)	60	75
VP (硬質塩化ビニル管)	40	—

注意: 標準締付トルクまで均等に、片締めにならないよう、しっかり締め付けること。

2. サドル付分水栓の全開を確認

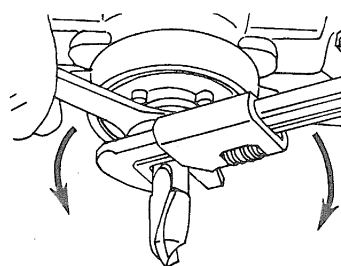
・サドル付分水栓のボールが完全に開いていることを確認する。

3. アダプタ取付け



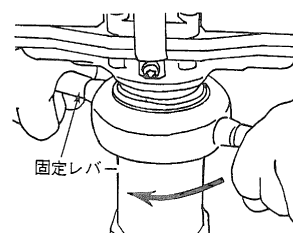
- ・アダプタ B にガスケット、アダプタ A に O リングとガスケットがついていることを確認する。
- ・アダプタ B をサドル付分水栓に取り付ける。(呼び径 40 の場合はアダプタ A を取り付ける) その後、アダプタ B にアダプタ A を取り付ける。
- ・通水で穿孔する場合は、ホースをアダプタ A のボールバルブに差し込みホースバンドで固定する。
- ・アダプタ A・B は工具を使用し、しっかりと締め付ける。

4. キリを電動穿孔機本体に取付け



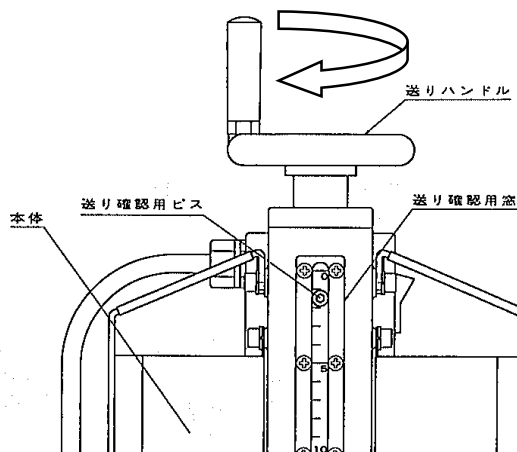
- ・配水管の種類・分岐口径に適合したキリを選定し、工具でしっかりと締め付ける。

5. アダプタに電動穿孔機をセット



- ・電動穿孔機本体のビス 4 個をアダプタ A の溝 4 箇所に入れる。
- ・固定レバーを下に押しながら右に止まるまで回し固定する。

6. キリを降ろす

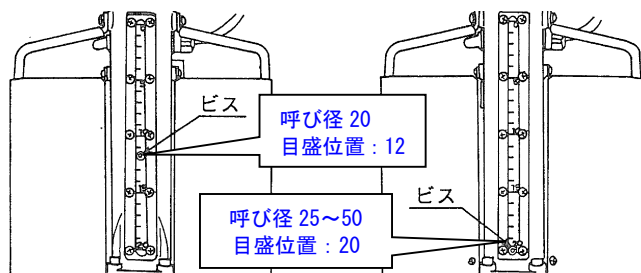


- ・ 送りハンドルを 1 秒間に 1 回転程度の速さで止まるまで（キリが管表面にあたるまで）ゆっくり右に回す。
- ・ 送りハンドルを 2 回転左に戻す。（キリを管から少し離す）この作業を行わないと芯ズレ等の原因になります。

7. 電源の接続

- ・ 穿孔機本体のスイッチが OFF であることを確認する。ON になっていた場合は OFF にする。
- ・ 電源の種類を確認し、電源と本体の接続方法に従い電源にそれぞれの部品を接続する。（電動穿孔機の取扱い説明書を参照下さい）

8. 穿孔作業



- ・ スイッチを ON にする。
- ・ 15～20 秒間で 1 回転の速さで送りハンドルを右に回し穿孔する。
- ・ 送り確認用窓のビスを確認しながら下記に示す目盛位置にビスが移動するまで送りハンドルを右に回しキリを降ろす。

ビスの目盛位置

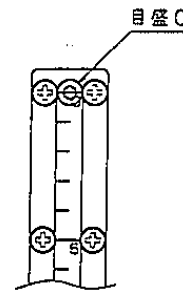
呼び径	目盛位置
20	12
25～50	20

9. 電源の取り外し

- ・ 穿孔機本体のスイッチを OFF にする。
- ・ 穿孔機本体の電源プラグを外す。
- ・ 電源から本体までの取り外し方法に従い電源までの部品を外す。（電動穿孔機の取扱い説明書を参照下さい）

10. キリを上げる

- ・ 送り確認用ビスが目盛の「0」に移動するまで、送りハンドルを左に回す。この作業を行わないとサドル付分水栓を閉じることができず、栓棒の破損・ボールの変形などによる止水不良となります。



11. 切粉を排出し分水栓を閉じる

- ・ 通水で穿孔した場合は、ボールバルブのハンドルを 5 回以上開閉し、ホースから切粉が出なくなるまで水を流す。この作業を行わないと切粉がかみこみ止水不良となります。
- ・ ボールバルブを閉にする。
- ・ サドル付分水栓を閉じる。

12. 電動穿孔機の取り外し

- ・ アダプタ A のバルブを開にする。
- ・ アダプタ A から電動穿孔機本体を外す。
- ・ 電動穿孔機本体からキリを外す。
- ・ アダプタ B からアダプタ A を外す。（呼び径 40 の場合はサドル付分水栓からアダプタ A を外す）
- ・ サドル付分水栓からアダプタ B を外す。
- ・ 空管穿孔の場合は、配水管及び分水栓内部に残った切粉をマグネットクリーナで取り除く。

13. 掃除と保管

- ・ 呼び径 30～50 のホルソーは、ホルソー内の切片を取り外す。
- ・ キリは綺麗なウエス等でよく拭き、水分・砂・石などを取り除き、専用ケースで保管する。
- ・ 電動穿孔機本体、アダプタ A・B は綺麗なウエス等でよく拭き、水分・砂・石などを取り除き、専用ケースで保管する。
- ・ その他の備品を掃除し保管する。

電動穿孔機取扱いの詳細については電動穿孔機の「取扱い説明書」をよくお読みになり、内容を理解した上でご使用下さい。

この施工手順書は、予告なく変更する場合があります。